

食品関連企業のTDM取組状況について①（アンケート実施概要）

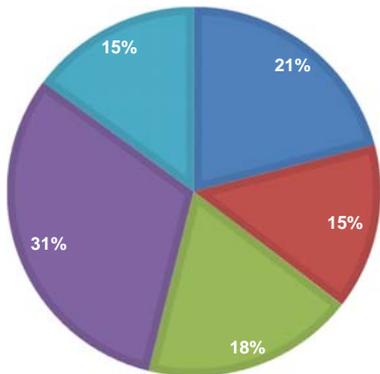
1. 回答状況

・1月10日時点で298社（製造(卸兼業の場合も含む)：卸 = 3 : 1）から回答

(参考)

回答企業の事業規模別内訳

- 1.売上 1000億円以上
- 2.売上 300～1000億円
- 3.売上 100～300億円
- 4.売上 10～100億円
- 5.売上 10億円未満



(参考)

回答企業の所属団体 ※重複する場合がある。

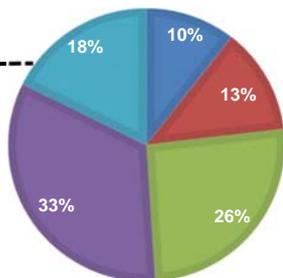
健康と食品懇談会、首都圏食肉卸売業者協同組合、製粉協会、全国飴菓子工業協同組合、全国いか加工工業組合、全国菓子卸商組合連合会、全国菓子工業組合連合会、全国削節工業協会、全国凍豆腐工業協同組合連合会、全国小麦分離加工協会、全国主食集荷協同組合連合会、全国食酢協会中央会、全国青果卸売市場協会、全国精麦工業協同組合連合会、全国清涼飲料連合会、全国珍味商工業協同組合、全国中央卸売市場協会、全国トマト工業会、全国花卸協会、全国包装米飯協会、全国マヨネーズ・ドレッシング類協会、全日本菓子協会、全日本糖化工業会、東京食肉市場卸商協同組合、日本加工食品卸協会、日本介護食品協議会、日本甘蔗糖工業会、日本コーヒー飲料協会、日本植物蛋白食品協会、日本炊飯協会、日本スープ協会、日本スターチ・糖化工業会、日本スパイス協会、日本ソース工業会、日本チョコレート・ココア協会、日本乳業協会、日本パスタ協会、日本ハム・ソーセージ工業協同組合、日本パン工業会、日本ハンバーグ・ハンバーガー協会、日本ビート糖業協会、日本分蜜糖工業会、日本べんとう振興協会、日本パインアップル缶詰協会、日本ミネラルウォーター協会、日本卵業協会、日本冷凍食品協会、風味調味料協議会、もやし生産者協会 他

食品関連企業のTDM取組状況について②（アンケート結果概要）

2. 取組の検討状況

- 1.2019年夏の試行実施前から検討している
- 2.2019年夏以降から検討を始めた
- 3.年明けから検討を始める予定
- 4.春先から検討を始める予定
- 5.検討する予定はない

242社が
検討中又は
検討予定

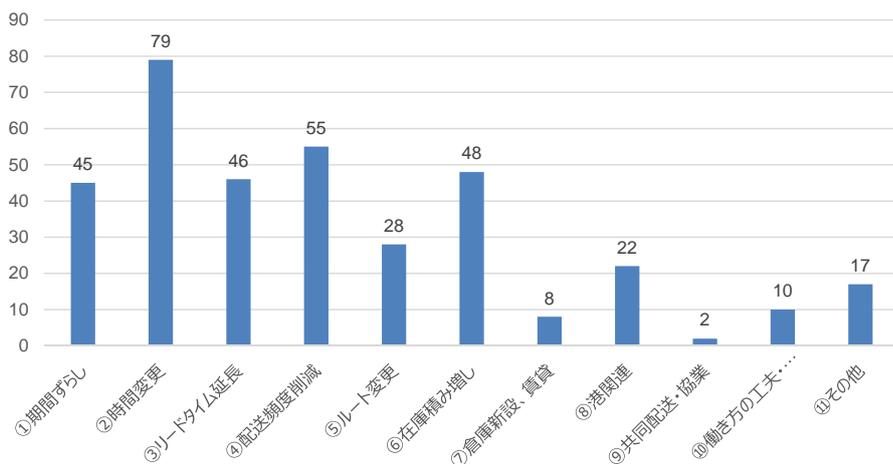


「5.検討する予定はない」理由

- ・取引先要望や状況次第で検討しうる
- ・関東エリアに配送先・物流センターなし
- ・既に深夜配送体制
- ・商品の特性上期間中の輸送が少ない

3. 取組の具体的な検討内容

※ 検討中又は検討予定の取組を、記述内容から分類（複数計上）



- ①期間ずらし・・・大会期間をずらした納品(茶葉、缶詰、調味料、菓子、製粉等)
 - ②時間変更・・・入荷時間の変更・延長(総合卸)、納品時間変更(調味料等)
 - ③リードタイム延長・・・リードタイム延長 (D + 2 納品への変更)等(菓子、冷凍商品、パン等)
 - ④配送頻度削減・・・イレギュラー納品発注の敬遠(飲料等)、日配→隔日配送、一日2便→3便等(乳飲料、総合卸)
 - ⑤ルート変更・・・配送コース見直し(総合卸等)、重点取組地区内の届け先への迂回ルート設定(乳飲料等)
 - ⑥在庫積み増し・・・関東圏の倉庫への在庫積み増し(食品素材、製粉、菓子等)
 - ⑦港関連・・・輸出入の期間の変更(ナッツ等)、東京港以外への揚げ地切替え(調味料、冷凍食品、珍味等)
 - ⑧共同配送・協業・・・他企業との生産協力(惣菜等)
 - ⑨倉庫新設・賃貸・・・中間拠点設置による配送距離の短縮(飲料等)、在庫拠点の新設(調味料等)
 - ⑩働き方工夫・・・商品絞込み(惣菜)・営業車運行自粛(香辛料等)、待機時間削減(飲料等)、システム導入(総合卸)
 - ⑪その他・・・物流子会社にて予備配送車を確保(乳飲料等)、期間中の販促をしないよう打診(飲料)
- 以上について、取引先と協議・調整し、協力して取り組む

食品関連事業者の具体的な TDM 検討内容について

(令和2年1月 農林水産省調べ)

TDM 対策について、食品関連事業者(製造・卸)が具体的に検討している内容は、以下のとおり(11月15日付アンケート回答から抽出)

【製造(日配品等)】

- ・取引先別に生産担当工場を東関東・西関東に振分けし、都心をまたぐ物流を軽減、期間中の取扱アイテムの縮小を商談(惣菜)
- ・納品頻度、納品時間、ルート変更等(ハム)
- ・時間帯・ルート変更(卵)
- ・D+2配送(1配送当たりのロットアップ)、重点取組エリアの届け先への納品時間の変更または迂回、配送回数の削減(隔日配送)(乳製品)
- ・納品時間・納品頻度・輸配送ルートの変更、受注・納品リードタイムの延長(空車の削減と積載率向上による配送車の削減)(乳製品)
- ・自社配送は既に深夜早朝帯。日中の小売配送納品先について、具体的調整を行う(飲料)
- ・工場間輸送について輸送時間及びルート変更、個店配送について納品頻度の見直し及び別配送(パン)
- ・2回配送を1回配送へ、納品時間規制撤廃(パン)
- ・配送出発時間の変更、配送頻度の低減、納品時間制限の撤廃・変更(パン)
- ・配送センターでの事前の在庫積増し、D+2配送、都内店舗直接納入から物流センター納入への変更により配送頻度削減(飲料)
- ・卸先・流通先への配送頻度の合理化、自社営業拠点からのルートカーでの営業活動(自販機への商品充填)の抑制、自社物流拠点(配送センター)からの頻度削減や出荷元配送センターの変更(飲料)
- ・在庫の積増し、大会期間中を避けた配送計画(事前・事後の配送)、納品時間の変更、納品頻度の変更(日中4回の配送を2回に削減)、ルート変更等(飲料)

【製造(上記以外)】

- ・納品リードタイム(D+2)遵守、迂回配送ルートの検索及び対応車両確保、納品時間帯の調整(早朝・夜間配送へのシフト)、納品頻度削減(粉類)
- ・配送難易度別にマッピングし、事前発注による在庫化・納品時間変更・納品頻度変更等、輸出入を東京港から横浜・川崎港等を中心にシフト(調味料)
- ・同業他社と配送時間調整や配送日程調整に係るプラン策定(調味料)
- ・納品時間変更、時間指定の解除・緩和、D+2配送、期間前後にずらした納品(調味料)
- ・在庫拠点新設、D+2配送、納品頻度見直し、時間指定緩和(油)
- ・納品時間帯の調整、ルート変更、納品リードタイムの緩和+ASNを活用した検品簡素化(調味料)

- ・ 海外製造品について、事前に西日本エリアで在庫積増し、納品エリア（首都圏等）を限定したリードタイム延長、物流波動の平準化（包装米飯）
- ・ リードタイム・配送頻度・納品時間枠の変更、大会期間前に小売での在庫数増し（飲料）
- ・ 早朝・深夜納品による時間帯の分散、まとめ配送、納品回数が少ない得意先での在庫積増し（健康食品）
- ・ 顧客向けはD+2の配送計画、社内輸送用は、納品時間帯変更（香料）
- ・ 工場⇄倉庫間移動便のルート変更など（菓子原材料）
- ・ 大口納品の計画的受注、納品先との早期納品交渉（菓子）
- ・ 納品リードタイム延長（D+2納品）、配送計画策定や車輛手配の時間確保、納品時間指定の撤廃/緩和、納品の集約（幹線輸送・地場配送）、作業時間短縮に向けた附帯作業解消や検品レス取組（菓子）
- ・ D+2配送（菓子）
- ・ D+2配送、早朝・夜間納品、納品頻度減、物流子会社での予備配送車確保（菓子、介護食品）
- ・ 輸入商品について、入荷計画の前倒しや首都圏地区港湾以外への揚げ地（港）変更（冷凍食品）
- ・ 外貨品（コンテナ）のデリバリー機能不全を想定した、在庫の積増し及び揚げ地の変更等（冷凍食品）
- ・ D+2納品、納品時間変更（時間制限緩和）（冷凍食品）

【製造（その他）】

- ・ 会場付近店舗の納品時間変更（日中から早朝・夜間へ）、期間中のミーティング中止、配送センターへの応援、店舗倉庫キャパシティ確認及び必要な機器増設、必要な店舗への配送頻度増、事前のトラック確保、店舗配送の拠点変更（首都圏センター店舗減数）、店舗配送用の大型トラックを増加、東京港からの揚げ地変更・倉庫拠点変更（船橋から東京港周辺など）、事前の在庫積上げ、余裕を持った出荷、運行計画、配送センターの予備在庫を増加（ファストフード）
- ・ 大会会場周辺の店舗を確定、納品時間の変更（ファストフード）

【卸】

- ・ 共同輸送による運搬車両の削減（荷受けに係る）（食肉卸）
- ・ 自社便配送の抑制（水産卸）
- ・ 会場周辺得意先の納品時間変更、（総合卸）
- ・ 調達について、メーカー入荷回数の削減（定曜日・定数納品）、入荷受付時間の柔軟化（期間の午前～午後入荷）、期間中の在庫積増し。販売について、規制対象エリア得意先の期間中納品時間柔軟化（総合卸）
- ・ 輸入貨物の早期内貨化、港湾以外の保管倉庫検討、営業車の運行自粛（総合卸）